



OSAKA JAPAN

..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
会長:水谷善博 幹事:延秀恵 会報委員長:内田正

2011年4月12日 第993回例会(第992号)

本日の例会

今週の歌 「それこそロータリー」

卓話 「今年度税制について」

大井清 会員

次回例会のお知らせ(4月19日)

卓話 「SIFEの組織とその活動について」

SIFE JAPAN 事務局

カントリーコーディネーター 中谷牧子様

(今村会員紹介)

前回〔4月5日〕例会記録

来客

新庄幸一君

(卓話者・次年度地区青少年活動委員長・枚方)

寺岡龍彦君(大阪北梅田)

会長の時間 水谷 会長

皆様こんにちは。福島原発の事故は現在も進行中で心配ですが、20kmまでの強制避難者は、13万5,800人、30kmまでの自主避難者も、あちらこちらへ避難所を変えて、今後も長期にわたり避難を続けねばならず、放射能のため風向きでそれ以上の影響も心配されます。

関西電力は福井県の高浜に4、美浜に3、大飯に4、敦賀に日本原子力発電の2、合計13ヶ所の原発があります。地震・津波が想定外で起きれば、今後共心配です。

さて、ロータリーでは4月は雑誌月間です。ロー

出席報告 田畑 委員長

【4月5日】
在籍会員 40名(内出席規定適用免除者 9名)
出席会員 32名(内出席規定適用免除者 6名)
ホームクラブ出席率 82.05%

3月8日のMUを含む出席率 94.59%

タリークラブは自ら率先して親睦を深め、奉仕活動を行う組織ですが3つの義務があります。一つ目は会費を納入すること、二つ目は例会に出席すること、三つ目は「ロータリーの友」を購読することです。R Iでは「The Rotarian」という公式雑誌が1911年以来毎月発刊され、「ロータリーの友」はR Iより公式地域雑誌に指定され、年度初めの7月号にはその年のR I会長の写真を表紙にすること、毎月「The Rotarian」から指定された記事を掲載しなければなりません。これを横書きの方に、縦書きの方は、日本国内の会員同士の意見交換や卓話などの欄があり、歌壇、俳句など皆様のご存知の通りです。「ロータリーの友」は11月と4月に英語版「Rotary-No-Tomo」が日本のRCや会員の活動を世界に紹介し、日本理解の一助になっています。

幹事報告 延 幹事

東日本大震災義援金について、本日の理事会にて以下の協議を致しました。

現在会員各位にとりあえず緊急で1万円ご協力

関西大学RAC例会出席担当

4月26日Bグループ 西本、今村
杉本各会員

会場：中央体育館 図書資料室

時間：19:00~20:00

私達は他人(ひと)を思いやり 奉仕の理想のもと 地域社会へ貢献するよう 努めます

いただいている義援金ですが、友好クラブの台北龍門R Cからの義援金が現在約250万円（会員数約50名）となっていることなども鑑みて、今後1人当たり5万円を目標とすることに決まりました。本日の卓話者新庄様より、御礼を義援金としてご寄付いただきました。

関西大学R A C新入生歓迎例会の案内

日 時：4月11日(月) 19:30~21:20

場 所：レストラン チルココ（関大前駅より徒歩6分）

集 合：関大千里山キャンパス正門前 19:20

登録料：5,000円

吹田R A C創立25周年の案内

日 時：5月29日(日) 16:00~18:30

場 所：ホテル阪急エキスポパーク

登録料：8,000円

ニコニコ箱

今 村 会 員 連続欠席のおわび。

北村(雅)会員 結婚記念日のお祝い有難うございました。

本日分 10,000円

累 計 1,199,000円

ニコニコキャンプ実行委員会

成 松 副委員長

ニコニコキャンプ実行委員会を4月19日(火)例会終了後、事務局にて開催します。

卓 話

「ニコニコキャンプについて」

次年度 地区青少年活動委員会

委員長 新 庄 幸 一 様

まずは、皆様に5年前にライラをホストして頂いたにも係わらず、この度はニコニコキャンプのホストを受任していただき誠にありがとうございます。

また、東日本の未曾有の大災害をうけ、春のライラが中止される中、皆様には、ニコニコキャンプがどうなるのか、ご不安のことと思います。開催の可否につきましては、先ごろ行われました、地区協議会の事前打合せで、岡部ガバナーノミニーより、「開催する」という強い決意をいただきました。その折、テーマに「東日本大震災の復興支援」を盛り込んでほしいと承りました。ニコニコキャンプでは、なかなか難しいですが、ご配慮よろしくお願い致します。



それではここで、資料に沿って、私共枚方R Cが、ホストした2010~11年度ニコニコキャンプがどのようなものであったかを紹介させていただきます。

まずは、実行委員会業務一覧にそってお話をいたします。この資料は、実行委員会を立ち上げ、時系列的に何をしなければいけないかを、羅列したものです。この一覧を元に準備および事後処理のための組織を作りました。内容については、資料をご参照下さい。この業務一覧を元に、総務委員会、P R・登録・受付委員会、実施企画委員会、プログラム・次第・報告書委員会という4つの委員会を立ち上げ、組織は動き出しました。当日の組織は、実施組織として、指示系統を整理いたしました。実際子どもと係わるところについては、運営組織として、R A C、チームライラに対する、決定事項の伝達は1本にまとめました。そして、運営組織図は、資料の通りとなりました。運営組織の各ポジションの役割については、R A Cの皆さんに周知していただけるよう、お願いいたします。プログラムについては、児童、R A C、ホストクラブロータリアン、来訪ロータリアンが、今何をするのかを、事前に周知しておくことで、直接係わっていない方、全日程参加できない方の不安、混乱、不満を招くことなく、参加意識の向上についても影響してくるものだと考えております。このほかに、雨のプログラムや、緊急時の対応についても準備が必要だと思いました。

最後になりましたが、2011~12年度のニコニコキャンプが、まずは安全に、児童には心に残る、R A Cにとっては社会のリーダーとなる礎になる、そしてホストクラブの皆様には、永く語り継がれる素晴らしいニコニコキャンプとなることを祈念しております。

本日は、ありがとうございました。